

若年層への意識啓発に係る取組みについて



令和5年(2023年)12月22日

【令和4年度実施】「女性が住みたくなるスタートアップ事業」

熊本県の20～30歳代の女性の転出超過数が男性を上回る要因の調査・分析

アンケート・ヒアリング調査の結果から見えてきたこと

「夫は仕事、妻は家庭」といった固定的性別役割分担意識が根強く残っている

自分の能力やキャリアを生かしたい
キャリア形成やライフプランを魅力的に伝えるものがあるといい

アンコンシャス・バイアスの
認識と意識改革

熊本ならではの
「選択肢」の創造

【令和5年度】若年層への意識啓発に係る取組み

1. ヒゴロッカサミット2023 プレサミット

若年層(大学生等)を対象とし、熊本で活躍するロールモデルとのパネルトーク、交流会(意見交換会)を実施

2. 熊本県版女性のロール モデル動画

熊本でキャリアアップを目指す女性にとって、身近に感じられる様々なジャンルに挑戦し活躍する若年女性をロールモデルにした動画を作成・発信

1 ヒゴロッカサミット2023プレサミット

■開催日時: 令和5年(2023年)12月2日(土) 10:30~

※「ヒゴロッカサミット フォーラム&アワード」と同日開催

■開催場所: くまもと県民交流館パレア 9階 会議室1

■参加者: ロールモデル 5名

県内大学生 24名

■実施内容: パネルトーク、交流会(意見交換会)



1-① プレサミット開催に向けて



女性の社会参画加速化会議に設置されたワーキング会議、実行委員会からも、若年層への意識啓発が重要との意見があり、内容を検討、企画のうえ、大学の就職課、男女共同参画関係部署へ訪問し、プレサミットの趣旨説明及び学生参加への協力、周知を依頼。

○10月20日(金)

熊本学園大学就職課、尚絅大学就職課

○10月23日(月)

ルーテル学院大学学生支援課

○10月24日(月)

熊本県立大学キャリアセンター、総合管理学部

○10月30日(月)

崇城大学就職課、熊本大学学生支援課

※その他大学、看護学校等専門学校にも、プレサミット開催を周知依頼。

1-② パネルトーク



●パネリスト(ロールモデル)5名

- ① 株式会社鶴屋百貨店 人事部 河津奈那 氏
- ② 株式会社アネシス 経営戦略本部 塩崎茉奈 氏
- ③ 株式会社岩永組 工事部 筑紫祐里奈 氏
- ④ 株式会社RITAマーケティングパートナーズ 代表取締役 林麻貴 氏
- ⑤ eスポーツ施設「うきのぼ」運営・コミュニティマネージャー 万田麻央 氏

●ファシリテーター 水野直樹 氏



1-② パネルトーク



パネリストから6つのテーマに沿って発言が行われた。

【テーマ1】今の仕事を選んだきっかけ、理由

【テーマ2】学生の頃の生活、取り組み

【テーマ3】学生の頃と今の社会人としてのギャップの有無



1-② パネルトーク



【テーマ4】仕事後や週末などの休みの過ごし方

【テーマ5】アンコンシャス・バイアスや固定的性別役割分担について

【テーマ6】これからのライフプラン、キャリアビジョン



1-③ 交流会（意見交換会）



- 5つのグループに分かれ、パネリストが各テーブルに移動。10分毎にテーブルを移動し、学生との意見交換を行った。
- 各テーブルにおいて、学生からパネリストに今の仕事を選んだ理由や、休日の過ごし方などを質問。
また、パネリストから学生に向け、学生生活の内容について質問するなど、意見交換が行われた。



1-④ まとめ



- パネリストから、「これから仕事を見つけるために必要なこと」について、参加学生へエール・メッセージが送られた。

- 「自分が楽しめる」ことを大切に、自分の人生が輝くような選択をしてほしい。
- 学生のうちに色々な経験をする事、やりたいことを見つけた時に、「なぜこれがいいと思ったのか」考えることが大事だと思う。
- 自分が働いている姿を「カッコいい」「こうなりたい」と想像できる仕事を選ぶことが大切と思う。
- やって見ないと、好きなこと、得意なこと、苦手なことわからないので、いろんなことにチャレンジしてほしい。
- 自分のいいところを発見できるポイントはたくさん溢れているので、自分を過小評価しないでほしい。

参加者からの声(アンケート)

- パネリストが熊本を選んだ理由を聞き、地元熊本で働く魅力を感じることができました。
- 仕事に対して漠然と不安を抱えていましたが、これからやるべきことが見えたので頑張ろうと思います。
- 「熊本で働くこと」、「今の仕事を選んだきっかけ」を聞いて、自分の興味を追求しているということが分かりました。
- 「どうして熊本で働きたいのか」や、「熊本にいる理由」が、地元貢献や、自分が満足感を得るためだということを知って、とても納得したし、働くなら今まで暮らしてきた街で頑張りたいと思いました。
- 何にでも挑戦して経験を積み、視野を広げることが大切だと強く思いました。

2 熊本県版女性のロールモデル動画について

- 視聴者ターゲット: 熊本でのキャリアアップを目指す女性や、これから社会に進出する学生など、20代~30代の若年女性。

熊本で暮らし、
働く、身近な
モデルケース



熊本の様々な
ジャンルで活躍
する若年女性
(20代~30代)

- ① 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 助教 安藤宏恵 氏
- ② 勘米良農園 坂本美鈴 氏
- ③ 株式会社鶴屋百貨店 人事部 河津奈那 氏
- ④ 株式会社岩永組 工事部 筑紫祐里奈 氏
- ⑤ 株式会社CREIT 代表/活動家・YouTuber 高橋尚子 氏

YouTubeチャンネル「**KUMAROMO** くまもと女性ロールモデル」を
11月29日(水)から公開中。

2 熊本県版女性のロールモデル動画について

【主な内容】

- ・今の仕事を選んだきっかけ
- ・仕事のやりがい・喜び
- ・仕事で大切にしていること
- ・今後のキャリアアップについて
- ・休日などのプライベートでの過ごし方
- ・毎日の暮らしの中で大切にしていること
- ・女性が活躍できる社会になるために必要なこと
- ・同じ業界で働くことを希望する方々へのメッセージ

熊本での働き方や暮らし方、
熊本の魅力など(各5分)

など

- 動画再生回数(R5.12.19現在):本編(1人約5分×5本)1.1万回、
ダイジェスト版(5人約5分×1本)6万回。

女性ロールモデル5人によるメッセージや働く姿を県内外に発信し、仕事やワークライフバランスの具体的なイメージを持ってもらうことで、女性活躍の促進や若年女性の移住定住にもつなげていく。